

科目名	ロシア語2c A	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	鈴木 佑也		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-1-320216	国際学部B：高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること			
授業の目的	<p>「ロシア語1」に引き続き、ロシア語の基礎を学び、高度な語学運用能力の基礎を築きます。 「ロシア語2cA」は会話の学習に重点を置きます。 なお、「ロシア語2aA」「ロシア語2bA」「ロシア語2cA」は同時に履修することが前提になっている授業です。 分けて履修することは可能ですが、注意してください。</p>				
学修到達目標	<p>「ロシア語2a」「ロシア語2b」「ロシア語2c」を通じての到達目標は以下の通りです。 1. ロシア語の基礎文法の一部を習得すること（動詞の過去形・未来形・名詞の格変化など）。 2. 上記で習得した内容を用いて簡単な会話ができるようになること。 3. 上記で習得した内容を用いてロシア語の簡単な文章が書けるようになること。 上記の3が「ロシア語2c」の目標です。</p>				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	教科書第12課 作文
第2回	第13課 作文
第3回	第14課 作文

第4回	第15課 作文
第5回	第16課 作文
第6回	第17課 作文
第7回	第18課 作文
第8回	第19課 作文
第9回	第20課 作文
第10回	第21課 作文
第11回	第22課 作文
第12回	第12-第22課の復習 その1
第13回	第12-第22課の復習 その2

第14回	第12-第22課の復習 その3
第15回	第12-第22課の復習 その4
第16回	定期試験 (ロシア語2abcAは統一して1回の試験をおこないます)

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。教員が指定した教科書ページに出てくる単語の暗記と文法に関する予習。
【復習】時間・内容	2時間。その日に学んだ文法事項と単語の暗記。

成績評価	
評価基準・方法	授業態度・授業への参加40%と、定期試験（期末）60%によって成績を評価します。 授業への参加度は出席回数で評価します。
フィードバック方法	小テスト実施後、関連文法項目と単語を随時説明する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	PBL（課題解決型学習）／グループワーク
教科書/参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・佐藤純一『NHK新ロシア語入門』NHK出版、2001年 ・『ロシア語習字ノート』ナウカ出版、2007年
受講上の留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・上記2冊の教科書を購入し、授業初回から必ず持参してください。 ・出席が極めて重要です。できるだけ欠席しないよう努めてください。 欠席分の挽回は相当の努力を要します。 ・この授業は予習・復習が不可欠です。 授業時の指示に従って必ず復習してください。 ・毎週、前回の授業の復習をかねた小テスト（復習テスト）を実施します。 ・小テストの内容については毎回ごとに指示します。 ・小テストをもとにした中間試験・期末試験を実施します（試験時は持ち込み不可）。 ・小テストのほかにも、宿題や各種テスト（記述・口頭など）を随時課します。 ・ロシア語を習得したいという熱意を持つ人のための授業です。 覚悟を持って臨んでください。 ・簡単ではありませんが、努力を重ねれば必ずロシア語で読み書き話せるようになります。
JABEE	

科目名	ロシア語2c B	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	羽田 幸恵		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-B-1-320216	国際学部B：高度な語学運用力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会において協調的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につけていること			
授業の目的	<p>「ロシア語1」に引き続き、ロシア語の基礎を学び、高度な語学運用能力の基礎を築きます。 「ロシア語2cB」は会話の学習に重点を置きます。 なお、「ロシア語2aB」「ロシア語2bB」「ロシア語2cB」は同時に履修することが前提になっている授業です。 分けて履修することは可能ですが、注意してください。</p>				
学修到達目標	<p>「ロシア語2a」「ロシア語2b」「ロシア語2c」を通じての到達目標は以下の通りです。 1. ロシア語の基礎文法の一部を習得すること（動詞の過去形・未来形・名詞の格変化など）。 2. 上記で習得した内容を用いて簡単な会話ができるようになること。 3. 上記で習得した内容を用いてロシア語の簡単な文章が書けるようになること。 上記の3が「ロシア語2c」の目標です。</p>				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	教科書第12課 作文
第2回	第13課 作文
第3回	第14課 作文

第4回	第15課 作文
第5回	第16課 作文
第6回	第17課 作文
第7回	第18課 作文
第8回	第19課 作文
第9回	第20課 作文
第10回	第21課 作文
第11回	第22課 作文
第12回	第12-第22課の復習 その1
第13回	第12-第22課の復習 その2

第14回	第12-第22課の復習 その3
第15回	第12-第22課の復習 その4
第16回	定期試験 (ロシア語2abcBは統一して1回の試験をおこないます)

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	1時間予習をすること。
【復習】時間・内容	1時間復習をすること。

成績評価	
評価基準・方法	授業態度・授業への参加(40%)と、定期試験(期末:60%)によって成績を評価します。 授業への参加度は出席回数で評価します。
フィードバック方法	小テストを採点して返却し、解説を行う。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	グループワーク／実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・佐藤純一『NHK新ロシア語入門』NHK出版、2001年 ・『ロシア語習字ノート』ナウカ出版、2007年
受講上の留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・上記2冊の教科書を購入し、授業初回から必ず持参してください。 ・出席が極めて重要です。できるだけ欠席しないよう努めてください。 欠席分の挽回は相当の努力を要します。 ・この授業は予習・復習が不可欠です。 授業時の指示に従って必ず復習してください。 ・毎週、前回の授業の復習をかねた小テスト（復習テスト）を実施します。 ・小テストの内容については毎回ごとに指示します。 ・小テストをもとにした中間試験・期末試験を実施します（試験時は持ち込み不可）。 ・小テストのほかにも、宿題や各種テスト（記述・口頭など）を随時課します。 ・ロシア語を習得したいという熱意を持つ人のための授業です。 覚悟を持って臨んでください。 ・簡単ではありませんが、努力を重ねれば必ずロシア語で読み書き話せるようになります。
JABEE	